

臨床化学自動分析装置「LABOSPECTシリーズ」



LABOSPECT 008

株式会社日立ハイテクノロジーズは、「臨床検査の質の向上への貢献」を目指し、専用試薬による装置・試薬の総合サポートを可能にした臨床化学自動分析装置「LABOSPECTシリーズ」を開発した。検査の信頼性向上のための各種技術・機能を搭載し、検査データの品質向上に貢献する。

製品の特徴

LABOSPECT 008

大型ディスクリット臨床化学自動分析装置

- (1) ラックサンプルタイプ
- (2) 比色処理能力：最大2,000テスト/h
2本2組の試薬プローブ、2本のサンプルプローブで構成される高速ピペティングにより、高速処理を実現
- (3) 同時分析項目：最大73項目〔ISE(電解質分析)含む。〕

LABOSPECT 003

小型ディスクリット臨床化学自動分析装置

- (1) サンプルディスクタイプ
- (2) 比色処理能力：最大320テスト/h
- (3) 同時分析項目：最大45項目（ISE含む。）
- (4) 従来機種に比べ、洗浄水消費量/廃液量の低減を図り、環境に配慮した設計：純水総使用量60%減（当社7080型臨床化学自動分析装置比）

新技術の採用

(1) ツイン構成ピペティングシステム

LABOSPECT 008は、試薬分注プローブと試薬ディスクのツイン構成により、二つの試薬ディスクの項目を交互にサンプリングする。ディスクの異なる項目間でのプロー

ブコンタミネーション回避が可能である。

(2) LABOSPECT専用試薬

データ精度維持のため、複数の提携試薬メーカーとの相互協力により、装置との適合性が確認された試薬を開発した。バーコードによってメーカー・項目・製造上の識別番号・試薬タイプ・容器サイズなどが管理できる。

(3) LABOSPECT専用ボトル

測定に第1試薬・第2試薬を組み合わせ管理できるコンビネーションボトルは、試薬設置作業を省力化する。測定数の多い項目には試薬単位のセパレートボトルを使用し、いずれのボトルもバーコードによって管理できる。

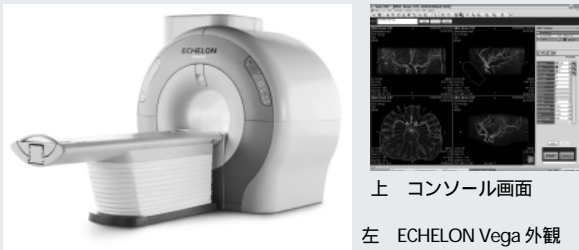


LABOSPECT 003

【問い合わせ先】

株式会社日立ハイテクノロジーズ
 医用システム営業本部 営業技術部
 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
<http://www.hitachi-hitec.com/science/>

1.5T高磁場MRI「ECHELON Vega」



「ECHELON Vega」は、高磁場MRI (Magnetic Resonance Imaging) の可用性と操作性を向上することで、高度な実用性と信頼性を実現した1.5T高磁場MRI装置である。被検者の心理に配慮したデザインとカラーリングは検査の不安を軽減し、高磁場MRIに新しい価値をもたらす。

製品の特徴

(1) Smart Design

被検者の心理的負担を軽減するために、開口部は広く、奥行きを短くし、さらにデザイン、カラーリングにも配慮した。設置条件の点でも、メリットの大きなコンパクト設計である。

(2) Smart Interface

定評がある日立MRIの操作のしやすさをさらに洗練させた新設計のコンソールを装備し、使う人にストレスを感じさせない操作性を実現した。

(3) Smart Imaging

より精細な画像をより速く、鮮明に撮像できる強力なハードウェアを搭載した。将来のアップグレードにも対応し、検査の確実性を支援すると同時に、使いやすさと信頼性を向上した。

(4) Smart Support Sentinel

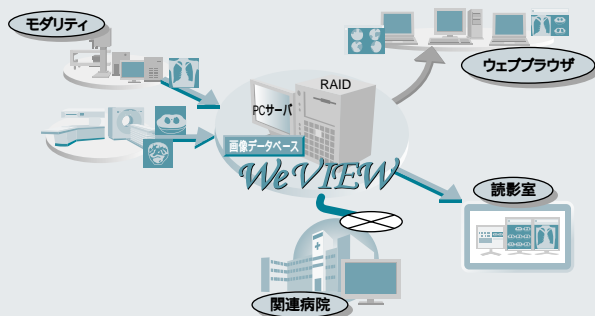
最新のサポートシステムを搭載し、ブロードバンド回線を通じた24時間リモート監視体制で、ソフトウェアのアップデートも自動的にを行い、高い可用性を維持する。

Sentinelは、米国およびその他の国におけるSSH Communications Security Corpの登録商標である。

【問い合わせ先】

株式会社日立メディコ 営業技術部
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX
<http://www.hitachi-medical.co.jp/>

IHE-J対応ウェブ型医用画像システム OPEN-PACSシリーズ「WeVIEW」



近年の電子カルテニーズで最も多い医用画像参照を実現し、いつでも、どこでも、簡単に、画像を身近にするために、「みんながビューワ環境を手に行ける」と願いを込めたシステムである。

製品の特徴

(1) オンデマンドな画像提供 (ウェブ配信機能)

「8bitJPEG」、「JPEG2000(wavelet)」、「DICOM」と目的に合わせた画像をウェブブラウザ上で表示可能である。

(2) フレキシブルなシステム構成

小規模な部門PACS (Picture Archiving and Communication System) から、大規模施設に必要とされるフル冗長化構成でのシステム提供まで幅広くサポートする。画像診断装置のデジタル化に合わせた段階的なシステム構築が可能である。

(3) こだわりの操作性

快適な操作環境を実現するため、全ユーザーにカスタマイズ可能なGUI (Graphical User Interface) 環境の提供が可能である。

これにより、使用端末を限定することなく、「検索項目」、「ツールアイコン」、「画面レイアウト」などをモダリティごとに自由に設定でき、各ユーザーは自分だけの画面表示を、利用スタイルに合った操作環境で使用できる。

(4) 標準化への対応 (IHE-J CPI/KIN)

医用画像の標準規格であるDICOM3.0準拠とともに、次代の医療システム構築ガイドラインであるIHE-J^{*1)} にいち早く対応した。放射線科のテクニカルフレームワークの画像表示に関する統合プロファイル「IHE-J CPI^{*2)}」と画像に対するテキスト情報に関する統合プロファイル「IHE-J KIN^{*3)}」に対応し、さまざまな場所で目的に合った画像表示やコメント情報の共有が可能である。

*1) IHE-J (Integrating the Healthcare Enterprise)

*2) CPI (Consistent Presentation of Image)

*3) KIN (Key Image Note)

【問い合わせ先】

株式会社日立メディコ メディカルIT事業部 営業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX
<http://www.hitachi-medical.co.jp/>